

県コンクリート製品協組

業務効率化 方法理解を

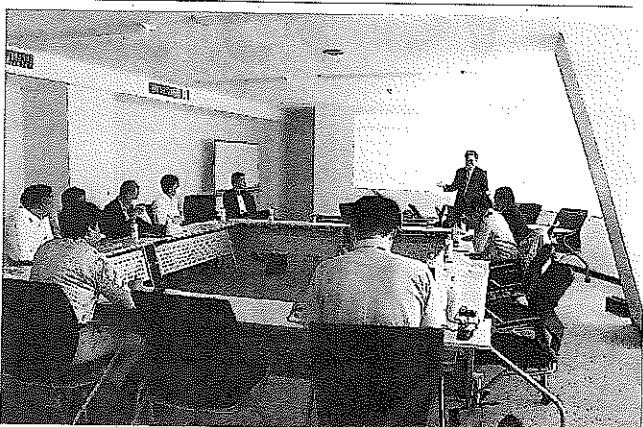
I T 適用・D X 化セミナー

千葉県コンクリート協同組合は29日、千葉県中小企業団体中央会の協力を受けて、「第1回IT活用・DX化の進め方セミナー」を千葉中央駅前ビル5階会

議室で開催した。参加者は9人。あいさつに立った寺田裕之理事長（㈱テラコノ）は、資材価格の高騰や人手不足などの社会情勢に触れ、「製造業務の効率化に必要なDX化やIT活用に着手するための方法を理解する必要がある」との見解を示し、セミナーの意義

松井淳・まついマネジメントオフィス代表が講師を務め、「IT活用・DX化の進め方およびノウハウなどの習得について」をテーマで読いた。

アーリングを行つた。
今後は、7月から12月にかけて、6回（月1回）にわたつて各社ヘアドバイスを行い、1月開催予定の第8回で総括する予定。



IT活用・DX化について解説した

マに講じた

市原市建設連合協同組合

主流はリスクアセス

市原から死亡無災害を

石井孝雄
「労働」
「暴力」
「貴・刑事」

る。インバウンド観光、地域活動、広域的な防災といった機能の多様化が進んでおり、新たにきわい創出と地域経済活性化の場となつてゐる」との認識を示した。

者を選定するための公募型
プロポーザルを公告した。
プロポーザルにおいて
は、7月3日まで募集要項
に関する質問書、24～28日
に参加申込書の提出を求
め、11月上旬にプレゼンテ

「つくり」
道の駅
ニユーラ
アクセス
空港周辺
共生共栄
に掲げた

A black and white photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a light-colored shirt and a dark tie. He is looking slightly to his left and appears to be speaking into a microphone, which is partially visible at the bottom right. The background is blurred, suggesting an indoor setting like a conference or event.

市原市建設連合協同組合
(宮原茂朗理事長)と(一
社)千葉県建設業協会市原
支部(宮原茂朗支部長)の
共催による「2023年度

安 全 大 会



安全表彰受賞者と

「聴」「害ト、明がてかり

安全大会」が5月26日、市原市内の市原建設センターで開かれた。当日は、千葉労働基準監督署の市倉健人署長と市原警察署の濱田憲明署長らによるあいさつをはじめ、安全活動に対する理事長表彰、千葉労基署の

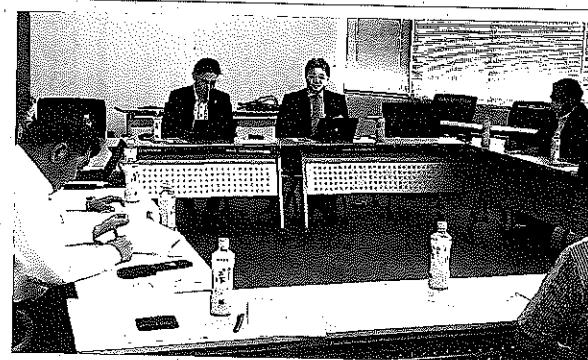
の採択を
確か
今後二
主催者
長(支部
対策はリ
として、

プロ車訓練実施

役所職員のボンディング操作習熟、利根川上流河川事務所との連携強化を図った。県建設業協会東京支部が協賛した。

参加者は3班に分かれ、ポンプの組立をはじめ、アースケーブルの接続、排水ホースの接続、吐出部の養生など、互酬して作

転訓練では、発電機始動から排水ポンプの起動後、排水運転を確認し、地域住民の安全と安心を守ります。



価格の高騰といつた社会情勢に言及しつつ、組合として初の開催となる「IT活用・DX化」に関する今回の研究会を、今後の経済活動に活用してほしいと呼びかけ、あいさつとした。

県工シングリード製品協同組合(寺田裕之理事長)は、千葉市中央区の組合事務局ビルで「IT活用・DX化の進め方及びノウハウ等の習得について」をテーマとした研修会を2023年9月10日(木)開催。

県コンクリ
製品組合

研究会で知識共有 初開催 IT活用とDX化



特種機械

会の協賛により実施したもので、中小企業診断士の資格を持つ松本淳氏と榎本典嗣氏を講師に迎え、

松井講師らはスクリー
ンなどを活用しながら
「製造業の総合診断や現
場改善の診断、生産・原

組み支援、CAD/CA
M、生産管理、顧客管理
I.O.T導入」といった自
身の専門・得意分野を踏

にアドバイスする。内容を総括する予定となつてゐる。

X（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みについて基礎から説明しつつ、参加企業の状況もピアリング。今後

北条小ブル改革案

市山館

館山市は、2023年度発注予定工事を更新した。1日以降発注分で、250万円以上の案件が対象だ。一般競争入札で、北条小学校ブール改築工事（総合評価方式）、食の町づくり拠点施設入口案内看板設置の2件を追加している。年内に32件を発注する計画だ。

北条小学校ブール改築工事は、一般競争入札（総合評価方式）で第2四半期に発注する。工期

は9カ月を見込んだ。既存屋外プールの老朽化に伴い解体・撤去と新設工事に着手する。

現在のプールは1971年に造られ、腐食などの老朽化が進んでいる。高学年用のS造 $25\text{m} \times 15\text{m}$ (7レン)と低学年用の13m \times 13mの2カ所設置されている。

新しいプールは、ステンレス製 $25\text{m} \times 25\text{m}$ (7レン)、水深0・7m \times 1・1mの1カ所とする。

る。概算費用は1億8000万円を見込み、改築工事設計は美建設設計（館山市）が担当した。食の町づくり拠点施設（稻地区）入口案内看板設置工事は、一般競争入札で第3四半期に工期3カ月で見込んでいた（詳細は市ホームページを参照）。

WOOD TEC

きれいな水と空気
そして安全な暮らしを考えます。

ウッドテック株式会社

千葉県印西市小林 3990-1

TEL : 0476-97-2551 FAX : 0476-97-2559

URL : <http://www.wood-tec.co.jp>

千葉成田

